

日本語
能力测试300分突破系列

毛文伟 编著

RIBENYU NENGLI CESH
SANBAIFEN TUPO XILIE

新标准对应

2级

日本語 能力测试 300分 突破系列

学林出版社

新标准对应

日本語能力测试

300 分突破系列

二级

毛文伟 编著

学林出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语能力测试 300 分突破系列. 二级 / 毛文伟编
著. 上海: 学林出版社, 2006. 6

ISBN 7-80730-114-7

I. Ⅱ... II. 毛... III. 日语—水平考试—自学参
考资料 IV. H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 019836 号



日语能力测试 300 分突破系列(二级)

- 编 著——毛文伟
责任编辑——薛 仁 李晓梅
特约编辑——俞素美
封面设计——周剑峰
出 版——上海世纪出版股份有限公司
学林出版社(上海钦州南路 81 号 3 楼)
电话: 64515005 传真: 64515005
发 行——新华书店上海发行所
学林图书发行部(上海钦州南路 81 号 1 楼)
电话: 64515012 传真: 64844088
照 排——南京展望文化发展有限公司
印 刷——上海师范大学印刷厂
开 本——787×1092 1/16
印 张——22.125
字 数——300 千字
版 次——2006 年 6 月第 1 版
2006 年 6 月第 1 次印刷
印 数——6 000 册
书 号——ISBN 7-80730-114-7/H·11
定 价——39.00 元

(如发生印刷、装订质量问题,读者可向工厂调换。)

前 言

日语能力测试是由日本国际交流基金和日本国际教育协会组织的水平考试,自推出以来,受到了各界的认可和关注,在评价、就职和留学等方面均发挥着越来越重要的作用。由此,也受到了广大日语学习者的重视,每年参加考试的考生人数不断增加;相应地,应试类书籍也不断涌现。

日语能力测试的试题可分为四大部分:听力、词汇、读解和语法。目前,各类辅导书籍所提供的练习和相关说明,往往只针对其中的某一部分,不及其余。但是实际上,这四大部分是相辅相成、互为联系的。将其分割开来进行复习,不仅会造成学习效率的低下,而且在学习过程中,由于缺乏具体语境的提示,经常会导致学生不能融会贯通,陷入单纯的机械练习,不利于综合运用能力的提高。

针对以上问题,笔者从1999年起,参考国内外大量日语能力测试的相关材料,以1984年出版的《日本语能力测试出题基准》中的相关规定为依据,编写了一套能力测试辅导教材。该书一经推出,就以其循序渐进、安排合理、针对性强的特色,受到了广泛好评,经多次重印,仍畅销不衰。

近年以来,日语能力测试在题型、出题范围和题量等方面出现了新的动向,对应试者提出了新的要求。但能够适应这些新变化的辅导材料则较少。针对这种情况,笔者利用出国进修的机会,收集了大量最新素材,特别对于新的题型,安排了大量针对性训练。同时,新增听力单元,收录了大量的最新素材,并运用最新电脑科技,在确保达到CD音质的条件下,将3CD内容浓缩为1CD。学习者可以方便地运用电脑、MP3播放器或DVD机进行播放,随时随地进行练习,确保高分通过。

本书共由20个单元构成,每个单元包括长文1篇、短文2篇。在内容编排上,每个单元的读解文章中均能出现5~7个新的二级文型,从而使学生在做读解训练的同时,能够在具体语境中,正确掌握各个文型的意义和使用方法。在此基础上,进一步加深对文章的理解,提高阅读分析的能力。同时,每个单元之后还附有相关词汇和语法练习,以巩固学习成果,提高综合能力。

书后还附有单词表和所有听力练习的文字材料,便于读者自学。

另外,每个单元之后还特别附有近似表达的比较,对一些容易混淆的文型进行说明,有利于学生准确掌握其使用上的特点,这可以说是目前同类教材之仅见。

经过近几年的试用,证明本书在帮助学生适应考试形式、提高学习效率、快速掌握各项内容方面,具有较好的效果。相信本书对于准备参加日语能力测试的学生以及活跃在教学第一线的广大教师,会起到很好的参考作用。

本书系笔者于日本长崎县壹岐县立高中执教期间编写而成。该校不仅为我提供了良好的研究环境,涩谷、川森、高岛等日籍教师还为我提供了大量的素材和宝贵建议。在编辑校对过程中,笔者又得到了张东、李勤、陈雪、高洁等老师的热情协助,在此一并表示感谢。

编 者

記号と文法用語の説明

記号

🔊 日本語能力試験二級文型 ➡ 日本語能力試験一級文型 / あるいは

文法用語一覧

名詞

[名詞]	名詞	例: 山 先生 親父 発展
------	----	---------------

動詞

[動詞-る]	連体形、終止形	例: 習う 起きる 来る 勉強する
[動詞-ない]	未然形 1	例: 習わ 起き 来 勉強し(せ、さ)
[動詞-よう]	未然形 2	例: 習お 起き 来 勉強し
[動詞-ます]	連用形 1	例: 習い 起き 来 勉強し
[動詞-て]	連用形 2	例: 習っ 起き 来 勉強し
[動詞-ば]	仮定形	例: 習え 起きれ 来れ 勉強すれ
[動詞-た]	過去形	例: 習った 起きた 来た 勉強した
[サ変動詞-語幹]	サ変動詞語幹	例: 勉強 旅行 命令 議論
[動詞]	普通体	例: 書く 書いた 書かない 書かなかった

イ形容詞(形容詞ともいう)

[イ形容詞-語幹]	語幹	例: 高 うれし
[イ形容詞-い]	連体形、終止形	例: 高い うれしい
[イ形容詞-よう]	未然形 1	例: 高かる うれしかる
[イ形容詞-く]	連用形 1	例: 高く うれしく
[イ形容詞-た]	過去形	例: 高かった うれしかった
[イ形容詞]	普通体	例: 高い 高かった 高くない 高くなかった

ナ形容詞(形容動詞ともいう)

[ナ形容詞-語幹]	語幹	例：静か 立派
[ナ形容詞-だ]	終止形	例：静かだ 立派だ
[ナ形容詞-よう]	未然形	例：静かだろ 立派だろ
[ナ形容詞-な]	連体形	例：静かな 立派な
[ナ形容詞-に]	連用形	例：静かに 立派に
[ナ形容詞-た]	過去形	例：静かだった 立派だった
[ナ形容詞]	普通体	例：静かだ 静かだった 静かではない 静かではなかった

目 次

前言	1
記号と文法用語の説明	1
第一課 うそと話の仕方	1
□ ～とたんに VS ～かと思うと VS ～次第	6
第二課 パソコン書斎	13
□ ～に対して VS ～にとって	18
第三課 資源の稀少性	25
□ ～に違いない VS ～に決まっている	29
第四課 私の礼儀観	36
□ ～以上 VS ～からには	42
第五課 子供のしつけ	49
□ ～につれて VS ～とともに VS ～に伴って	54
第六課 空気の起源	61
□ ～ばかりか VS ～どころか	66
第七課 勘というもの	73
□ ～向けだ VS ～向きだ	78
第八課 人間の距離感	85
□ ～わけだ VS ～はずだ	90
第九課 イルカの睡眠法	97
□ ～かねない VS ～恐れがある	102
第十課 突然死かガン死か	108
□ ～うる VS ～られる、～できる	113
第十一課 禁煙	120
□ ～ぬく VS ～きる	125
第十二課 講演者の疑惑	132
□ ～てならない VS ～てしょうがない VS ～てたまらない	137
第十三課 間取りの本当の意味	144
□ ～にくい VS ～がたい	149
第十四課 うどん	156

□ ～ざるをえない VS ～ないわけにはいかない	162
第十五課 買物	169
□ ～を問わず VS ～にかかわらず	175
第十六課 日本語の国際化	182
□ ～だけに VS ～だけあって	187
第十七課 オゾン層破壊の元凶	194
□ ～に関して VS ～について VS ～をめぐる	199
第十八課 健康病が心身をむしばむ	206
□ ～を通して VS ～を通じて	211
第十九課 海の大切さ	218
□ ～がち VS ～気味	223
第二十課 父と私	230
□ ～にしては VS ～わりには	236
聴解スクリプト	242
日本語能力試験二級文型総索引	292
本文に出なかった文型	294
単語の索引	307
練習の解答	317

第一課 うそと話の仕方

[本文]

かつて、私はこんな実験を行なったことがある。まず、実験の協力者に20分間、一桁の数字をランダムに書き続けてもらう(つまらない作業)か、絵のなかにある間違いを探してもらう(おもしろい作業)かのいずれかの作業をしてもらう。

この作業が終わったあと、おもしろい作業を経験した協力者には、次の順番を待っている人に「つまらない作業だった」と説明してもらった。同じように、つまらない作業を経験した協力者には「おもしろい作業だった」と説明してもらった。〔①〕、自分が実際に経験したこととは正反対の、いわばウソの説明をしてくれるように頼んだのである。

その結果、「つまらない作業をおもしろい」と説明するグループの人たちは、「おもしろい作業をつまらない」と説明するグループやコントロール・グループ(自分が経験した  通りに説明する条件)の人たちより、より遠くの距離から説明することがわかった。また、実験条件  にかかわらず、② 相手の後方から接近する場合より、前方から接近する場合の方が距離が遠くなった。

さらに、相手の前方から説明する場面では、「おもしろい作業をつまらない」と伝える場合(108センチメートル)より、「つまらない作業をおもしろい」と伝える場合(173センチメートル)のほうが距離が遠かった。さらに、「つまらない作業をおもしろい」と説明する場面では、後方(107センチメートル)から説明する場合より、前方(173センチメートル)から説明する場合のほうが距離が遠かった。

要するに、ウソをつかなければならない場面では、とくに前方からの場合、ことに相手に接近にくくなることがわかる。また、③ 同じウソでも、④ 相手を傷つける  恐れが少ないウソ(本当はおもしろいのにつまらないと言う)をつくときには相手に接近しやすいといえる。

⑤ いつもと違ってうしろのほうから話しかけてきたとか、いつもより遠くの前方(この実験からは70センチメートル前後になる)から話しかけてきた。こんな場面では、相手が特別な気持ちを持っていると考えられる。ウソをつこうとしているのか、あるいは、何か言い出しにくいことを言おうとしているのだと推測してよさそうである。

(渋谷昌三「人と人との快適距離パーソナル・スペースとは何か」より)

思考問題

- 〔①〕に入ることばとして適当なものは次のどれか。
 - 1) すると
 - 2) つまり
 - 3) けれども
 - 4) ところで
- ②「相手」とあるが、次のどれか。
 - 1) 実験の次の順番を待っている人
 - 2) おもしろい作業を経験した人
 - 3) つまらない作業を経験した人
 - 4) 自分が経験した通りに説明する人

3. ③「同じウソでも」というのは、この場合どういう意味か。
- 1) ウソをつく相手が同じでも
 - 2) 場合によりウソでなくても
 - 3) ウソを伝えるのは同じでも
 - 4) 言ってはいけないウソでも
4. ④「相手を傷つける恐れが少ないウソ」とは、何をどのように伝えることか。
- 1) 数字を書く作業をおもしろいと伝えること
 - 2) 数字を書く作業をつまらないと伝えること
 - 3) 間違い探しの作業をおもしろいと伝えること
 - 4) 間違い探しの作業をつまらないと伝えること
5. ⑤「いつもと違ってうしろのほうから話しかけてきた」とあるが、そのような場合、ここで考えられる理由は次のどれか。
- 1) 相手をあまり傷つける心配がないから
 - 2) 相手をびっくりさせようとしているから
 - 3) 相手に何かウソをつこうとしているから
 - 4) 相手を特別に喜ばせようとしているから
6. この実験は何を調べるための実験か。
- 1) つまらない作業をどのくらい続けられるか
 - 2) ウソをつくときに人の行動に変化があるか
 - 3) 人と人との距離は実験の順番と関係があるか
 - 4) 実験でウソに対する気持ちがどう変わるか

☞ 新出単語

桁(けた)	[名]	〔数的〕位数, 横梁, 算盘(的立)柱
ランダム	[名]	随机
順番(じゅんばん)	[名]	顺序
いわば	[副]	说起来、可以说、打个比方
コントロール	[名・サ他]	支配、管理、抑制、操纵
距離(きょり)	[名]	距离、间隔
後方(こうほう)	[名]	后方
要するに(ようするに)	[副]	总之、总而言之
ことに	[副]	特别、格外, 尤其
接近(せっきん)	[名・サ自]	接近、靠近、密切的关系
推測(すいそく)	[名・サ他]	推测、猜测、估计

☞ 文法の解説

☞ ~とおりに/~通りに

意味 「それと同様に」「そのままに」という意味を表す。

接続 名詞＋の/[動詞-る]/[動詞-た]＋とおり(に)

例文 ☆ご存知の通り、伊藤忠は日本最大の総合会社の一つである。

☆物事は自分で考えている通りにはなかなか進まない場合が多い。

☆それはまったく先生のおっしゃったとおりです。

参照文型 ♪ ～どおり ♡ ～ごとく

♪ ～にかかわらず

意味 「それに関係なく、それを問題とせずに」との意味を表す。

接続 [名詞]/[動詞]/[イ形容詞]/[ナ形容詞]＋にかかわらず

例文 ☆外圧の有無にかかわらず、輸出依存型経済から脱却する意欲を示すべきだ。

☆国籍にかかわらず、人権と安全はきちんと守られなければならない。

☆好むと好まぬとにかかわらず、農村の若い人々は農家の仕事を知っている。

参照文型 ♡ ～にかかわる ♪ ～にかかわりなく ♡ ～いかんによらず

♪ ～恐れがある/～おそれがある

意味 望ましくない出来事が起こる可能性があることを表す。

接続 「名詞＋の」/[動詞-る]＋恐れがある

例文 ☆今夜から明日にかけて津波の恐れがあるので、厳重に注意してください。

☆再び噴火する恐れがあるため、警戒区域の住民に避難勧告が出された。

☆大胆な決断も過ぎると、将来の企業体質に悪い影響を及ぼす恐れがある。

参照文型 ♪ ～かねない

〔読解文〕

I

僕の伊豆の別荘がキツツキに攻撃されている話は、確か、どこかでしたと思う。僕の家は、キツツキにスイスチーズのように穴 ♪ だらけにされてしまった。もう本当にひどかった。穴を空けたままにしておくと、コウモリが入り込んだり、別の鳥が巣を作ったりします。しかたがない、大工さんに穴を塞いでもらった。ペンキも塗り替えてもらった。ちょうど、① 十年は経ったところだし、これぐらいの修理は仕方ないか、と諦めた。新しいペンキの匂いは、キツツキを遠ざけてくれるだろう。そう考えた、支払いの時の胸の痛みを柔らげる準備をした。

さて、修理は終わり、足場は取り払われ、大工さんが代金を受け取りに現れた。僕はその日銀行からおろしたばかりの、手の切れるようなぱりぱりのお札を、大工さんの目の前で、なるべく② 時間をかけてヒイフウミイと数えた。その時であった。

「トントントン」

僕は思わず手を止めた。

「ありゃなんだ？」

③ 質問する ♪ だけヤボであった。もちろんキツツキ。その日まで姿を隠していたのはなぜだったのか。ペンキの匂いをキツツキが嫌うだろうと考えたのは甘かった。キツツキ

はもっともとしつこい鳥であった。

僕は思わず大工さんと顔を見合わせた。

「えへへへ」

大工さんのその時の複雑な笑顔を、なかなか表現できない。僕も笑った。大工さんに負けずとも劣らない複雑な表情だっただろう。借金トリはキツツキと同じトリの類であることを確認したのであった。

思考問題

1. ①「十年は経った」とあるが、いつから十年経ったのか。
 - 1) キツツキに別荘を攻撃されてから
 - 2) 別荘のベシキを塗り替えてもらってから
 - 3) 別荘が建てられてから
 - 4) 筆者が別荘を修理しようと思ってから
2. ②「時間をかけて」とあるが、筆者はどうしてそうするのか。
 - 1) 大金なので数えるのに時間がかかってしまうから
 - 2) 新しいお札なので数えにくいから
 - 3) 数えるのを間違っではいけないから
 - 4) 新しいお札との別れを借しんでいるから
3. ③「質問するだけヤボであった」とあるが、どうして質問する必要もなかったのか。
 - 1) 聞いても無駄であるから
 - 2) 聞いたら無駄であるから
 - 3) 聞かなくてもすぐ分かるから
 - 4) 聞く内容が間違っているから
4. この文章に表れている筆者の気持ちはどれか。
 - 1) 払う価値のない代価は払う必要がない
 - 2) 悔しい思いをして代価を払うこともある
 - 3) 損をしないように代価を払う前に確認をするべきだ
 - 4) 代価として払うことを悔しいと思っではいけない

新出単語

伊豆(いず)	[名]	伊豆(地名)
別荘(べっそう)	[名]	別墅
攻撃(こうげき)	[名・サ他]	攻击
啄木鳥(きつつき)	[名]	啄木鸟
スイスチーズ	[名]	瑞士奶酪
蝙蝠(こうもり)	[名]	蝙蝠
巢(す)	[名]	鸟巢、动物的巢穴
大工(だいく)	[名]	木匠、木工
ペンキ	[名]	油漆
遠ざける(とおざける)	[下一他]	躲开、避开、疏远

足場(あしば)	[名]	立足处、踏板、(精神上的)立脚点
野暮(やぼ)	[ナ形容詞]	庸俗、土气、不知趣
負けず劣らず(まけずおとらず)	[連語]	不分优劣、不相上下
借金取り(しゃっきんとり)	[名]	讨债的人、要账的人

☞ 文法の解説

㊦ ～だらけ

意味 それでいっぱい、そればかりがたくさんある様子を表す。話し手のマイナスの評価を表すことが多い。

接続 [名詞]+だらけ

例文 ☆子供達は泥だらけになって遊んでいる。

☆けんかでもしたのか、彼は傷だらけになって帰ってきた。

☆彼の書いたレポートは間違いだらけです。

参照文型 ⇨ ～まみれ ⇨ ～ずくめ

㊦ ～だけ

意味 「できる限り」という意味を表す。

接続 [動詞-る]+だけ

例文 ☆そこのりんご、持てるだけ持って行っていいよ。

☆彼は銀行から金を借りられるだけ借りて家を買った。

☆彼は体を鍛えるために、毎朝走れるだけ走っている。

参照文型 ㊦ ～だけあって ㊦ ～だけに

II

富士は見る場所 ㊦ によって、表情が違う。広重の穏和な富士 ㊦ かと思うと、北斎の峻険な富士になる。その変化を楽しみながら、西へ進む。いつもなら、後は読書か睡眠だが、先週は名古屋から西の雪景色を堪能した。田んぼの畦のわずかな盛り上がり。竹やぶや屋根に降り積もった優しいふくらみ。一面の雪のはるか彼方に浮かぶ湖面…

(「鐘」『日本経済新聞』より)

☞ 思考問題

問 「いつも」とは、どんなときか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1) 雪がないとき | 2) 富士山が見えないとき |
| 3) 新幹線に乗っていないとき | 4) 外国人が近くにいないとき |

☞ 新出単語

穏和(おんわ)	[ナ形容詞]	稳重温和
峻険(しゅんけん)	[ナ形容詞]	险峻的、陡峭的
堪能(たんのう)	[名・サ自]	熟练、擅长、十分满足

田んぼ(たんぼ)	[名]	田地、水田、庄稼地
畦(あぜ)	[名]	田埂、田界
竹やぶ(たけやぶ)	[名]	竹林、小竹丛
膨らみ(ふくらみ)	[名]	膨胀、鼓起
彼方(かなた)	[名]	那边、彼岸
湖面(こめん)	[名]	湖面

文法の解説

～かと思うと

意味 ① 現状が話し手の予想に反している事柄を表す。

② 「前件が起こった直後、後が起こる」という継起の意味を表す。

接続 ① [名詞]/[動詞-る]/[イ形容詞-い]/[ナ形容詞-だ]/[助動詞]+かと思うと

② [動詞-た]+かと思うと

例文 ☆勉強しているかと思うと、また漫画を読み始めた。①

☆今年は冷夏かと思うと、猛暑で毎日うだるような暑さだ。①

☆空で何かぴかっと光ったかと思うと、ドーンと大きな音がして地面がゆれた。②

☆あの子は部屋に入ったかと思うと、また走り出した。②

参照文型 ☆ ～とたんに ☆ ～か～ないかのうちに ☆ ～次第

類似表現の使い分け

□ ～とたんに VS ～かと思うと VS ～次第

“～とたんに”、“～かと思うと”和“～次第”都可以表示“一……就……”的瞬间即起关系，即前项动作结束后，后项动作立即发生。但在前后项动词的性质以及意义方面，三者之间存在着一些差异。

首先，“～とたんに”或“～かと思うと”句中主句或从句的谓语必须是表示动作或变化的动词(例1))。存在动词“いる”、“ある”等，可以充当“～次第”句中从句的谓语，但不能充当“～とたんに”或“～かと思うと”句中主句或从句的谓语(例2))。

1) クタクタと横になり、枕に頭をつけた○途端/○かと思うと、ものすごい鼾をかき出す。
「フーテンの寅」

2) そして、また機会のあり○次第/×あったとたん/×あったかと思うと、こんな風な通信をいたしましょう。
「母親の通信」

其次，包含这三个文型的句子，一般都不能以表示推测的“だろう”、表示疑问的“か”、表示感叹的“なあ”或是表示主观推断的“ようだ”、“にちがいない”等形式结句(例3))。不过，“～次第”句中的主句一般表示说话人意志，所以可以采用表示请求的“てください”或表示意志的“ましよう”、“ぞ”等形式，而“～とたんに”、“～かと思うと”句中的主句则不能采取这些形式(例4)、5))。

3) かすれた、低い声が洩れたかと思うと/たとたん/次第、また眼を○とじた/×とじた
だろう/×とじたか/×とじたなあ/×とじたようだ/×とじたにちがいない。

【平賀源内】

4) 何卒この手紙の○着き次第/×着いたかと思うと/×着いたとたん迎えに来て下さいませ」

【明月記】

5) 見つけ○次第/×たかと思うと/×たとたん叩き殺してやるぞ!!」

【線路工夫】

同时,“～次第”对句中充当主从句谓语的动词,有着较严格的要求。一般从句动词必须是自动词,而主句谓语必须是他动词。同时,主句谓语也不能是过去形(例6))。“～とたんに”、“～かと思うと”没有其他方面的限制,但其主句的谓语一般不能是第一人称有意识的行为(例7))。

6) 「計画○ができ/×を立て次第、すぐにも着工し×たい/×たかった。

【朝日新聞】

7) シートに座ったとたんに、私は○眠りこんでしまった/×目を閉じた…

【世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド】

另外,在“～かと思うと”句中,由于“思う”这一动词已经融入文型之中,本来的思考的意义已经淡化,故句中的主语很少是第一人称。“～とたんに”则没有这一限制。

8) 私はその言葉を耳に○したとたん/×した(か)と思うと、これまで抑えに抑えていたものが、一気に爆発してしまった。

【一瞬の夏】

【課外練習】

☆ 文 字 ・ 語 彙

問題Ⅰ 次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方を、それぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. クラス委員①の適当②な候補者③がいないので、無理④に選ぶのはやめて、全員が順番⑤にやることに決定した。

(1) 委員

1) えきいん

2) いいん

3) くみいん

4) やくいん

(2) 適当

1) てきど

2) てっとう

3) てきとう

4) てきどう

(3) 候補者

1) こうふしゃ

2) こうほじゃ

3) こうほうしゃ

4) こうはしゃ

(4) 無理

1) ゆり

2) ふり

3) むり

4) ぶり

(5) 順番

1) じゅうばん

2) じゅんばん

3) じょんばん

4) しゅんばん

2. 会社から支給①された作業②服は濃い③青色の上下④で、とても動きやすく、大工⑤さん達から評判がよい。

- | | | | | |
|--------|----------|-----------|---------|---------|
| (1) 支給 | 1) しきょう | 2) きょうきゅう | | |
| | 3) さきゅう | 4) しきゅう | | |
| (2) 作業 | 1) さごう | 2) さぎょう | | |
| | 3) さくぎょう | 4) ざぎょう | | |
| (3) 濃い | 1) にぶい | 2) うすい | 3) しぶい | 4) こい |
| (4) 上下 | 1) うえした | 2) じょげ | 3) じょうげ | 4) じょうか |
| (5) 大工 | 1) だいこう | 2) だいく | 3) たいこう | 4) たいく |

問題Ⅱ 次の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字を、それぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. ヘリコプターで空からかんそく①したところ、かこう②から流れ出たようがん③はすごいいきおい④で西に向かっていて、村にせっきん⑤しているのがわかった。

- | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| (1) かんそく | 1) 観測 | 2) 感測 | 3) 観足 | 4) 管測 |
| (2) かこう | 1) 火降 | 2) 下降 | 3) 火口 | 4) 河口 |
| (3) ようがん | 1) 容岩 | 2) 溶岩 | 3) 湯岩 | 4) 陽岩 |
| (4) いきおい | 1) 急い | 2) 強い | 3) 勢い | 4) 速い |
| (5) せっきん | 1) 説近 | 2) 接近 | 3) 設近 | 4) 折近 |

2. ろうどう①についてのいしき②調査をじっし③したところ、おもしろい結果が出た。

- | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| (1) ろうどう | 1) 労働 | 2) 労働 | 3) 栄働 | 4) 栄動 |
| (2) いしき | 1) 意諸 | 2) 意識 | 3) 意議 | 4) 意講 |
| (3) じっし | 1) 実姉 | 2) 実子 | 3) 実行 | 4) 実施 |

3. 高校時代、よくちこく①して生徒指導のたんとう②の先生に怒られたものだ。

- | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| (1) ちこく | 1) 遅刻 | 2) 遅告 | 3) 達刻 | 4) 達告 |
| (2) たんとう | 1) 担当 | 2) 相当 | 3) 団当 | 4) 配当 |

問題Ⅲ 次の文の _____ に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. 彼は自分でもよく勉強しているので、いつも先生に _____ 質問をする。

- | | |
|---------|----------|
| 1) たかい | 2) うすぐらい |
| 3) おかしい | 4) するどい |

2. 台風接近の影響で、鉄道の _____ が乱れている。

- | | |
|--------|---------|
| 1) ダイヤ | 2) タイヤ |
| 3) タイプ | 4) ダイヤル |

3. 旅行のお土産に _____ のりんごのお菓子を買った。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1) 名作 | 2) 名物 | 3) 産物 | 4) 作物 |
|-------|-------|-------|-------|

4. 木に巣箱をかけて餌を置いたら、さっそく6 _____ の小鳥がやってきた。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1) 頭 | 2) 目 | 3) 足 | 4) 羽 |
|------|------|------|------|

5. 当時は家の_____で大学進学をあきらめたのです。
 1) 事実 2) 状態 3) 事態 4) 事情
6. 子供たちは、楽しそうに海に_____, 魚や貝をとっていた。
 1) のぞいて 2) もぐって 3) いれて 4) さぐって
7. あ、_____. 財布を家に置いてきた。
 1) しめた 2) しまった 3) しめった 4) しばった
8. じゃまだから、ちょっとそこ、_____ください。
 1) どいて 2) といて 3) ほって 4) けって

問題Ⅳ 次の(1)から(3)は、言葉の意味や使い方を説明したものです。その説明に最もあう言葉を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. 今まで述べたことのうち、大事なことをまとめる時に使う。
 1) 要するに 2) もっとも 3) したがって 4) しかも
2. 見てすぐ明らかなほど目立って変化すること。
 1) めっきり 2) すっきり
 3) はっきり 4) やっぱり
3. 新しさもおもしろさもなくなってしまう様子。
 1) へいぼん 2) たいくつ
 3) からっぽ 4) めんどろ

問題Ⅴ 言葉の使い方として正しいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. あるいは
 1) 日は暮れて、あるいは雨まで降ってきた。
 2) あるいはは助からないのなら、なんでも好きなものを食べさせるがいい。
 3) あすはあるいはは雨が降るかもしれない。
 4) 昨日、田中さんあるいはは井上さんが来ました。
2. せまる
 1) 線路にせまってずっと行くと、右側に大きな新しい図書館が見えてきます。
 2) 試験が1週間後にせまってきたので、毎日遅くまで勉強している。
 3) がまんも限界にせまったので、とうとう怒りが爆発してしまった。
 4) 今日は一人も休まずせまって参加することができた。

問題Ⅵ 下線の言葉の意味に最も似ているものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. この冬は殊に寒かった。
 1) とくに 2) すこし
 3) ちょっと 4) ぼちゃぼちゃ
2. パトカーはただちに現場にかけつけた。
 1) あとで 2) まえに
 3) おそく 4) すぐに